

[幼児がライターで火遊び カーテンに着火]

- 1 出火日時 6月 11時頃
- 2 出火建物 専用住宅 木造2階建
- 3 火災程度 火元：1棟半焼 類焼：1棟部分焼 1棟ぼや
- 4 死傷者 負傷者 50才代男性1名
- 5 原因概要

この火災は、幼児によるライターの火遊びで出火したものです。

普段両親は、ライターを子供の手の届かないところに置いておくように心がけていましたが、その日はライターをテーブルの上に置き忘れたため、幼児がそのライターで遊び、居室のカーテンに着火し出火したものです。

この火災により、火元の専用住宅は半焼し、他に2棟類焼しています。

また、避難する際、50才代の男性が軽症を負っています。



6 予防対策

子供たちは大人の行動に興味を持つものです。たばこを吸う時のライターやマッチで火をつける動作など、大人が気付かぬうちに子供たちはたくさんすることに興味を示しています。

ライターやマッチで火をつけるという動作は、小さな子供でも簡単に行うことができます。しかし、子供たちは『火がついたら、どうなるか』という認識はありません。

子供が火遊びをするのは大人の責任です。火遊びをさせないために、次のことに注意しましょう。

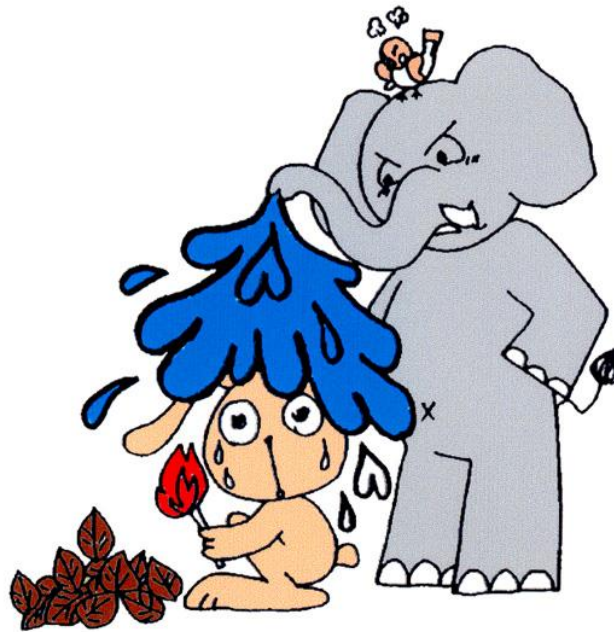
- ・ ライターやマッチを子供たちの手の届くところに置かないようにしましょう。
- ・ 子供たちが火遊びやたき火をしていたら注意し、再発防止を図りましょう。

[ライターで火遊び 枯草に燃え移り火災に]

- 1 出火日時 3月 15時頃
- 2 出火場所 土手
- 3 火災程度 枯草 約100㎡
- 4 死傷者 なし
- 5 原因概要

この火災は、小学校低学年の男の子3人が、土手で落ちていたライターで火をつけて遊んでいたところ、周囲の枯草に燃え移り火災になったものです。

なお、この日は空気が乾燥し乾燥注意報が発表され、火災の発生しやすい気象条件でした。また、風も強く一度火がついた枯草は風にあおられ、子供では消火できない状態まで延焼拡大してしまいました。



6 予防対策

この火災は、子供が落ちていたライターで火遊びをしたことにより出火したものです。子供の火遊びは大人の責任です。

子供たちにライターやマッチで火遊びしないよう指導しましょう。

また、冬季は空気が乾燥し、乾燥注意報が発表されるなど、火災が発生しやすい気象条件となるため、特に屋外での火遊びをしないよう注意しましょう。

[空家に入り火遊び 火災に]

- 1 出火日時 12月 16時頃
- 2 出火場所 空家 鉄骨プレハブ平屋建
- 3 火災程度 火元：1棟全焼 類焼：2棟全焼・1棟部分焼
- 4 死傷者 なし
- 5 原因概要

この火災は、以前事務所として使われていたが現在は空家となっている平屋建のプレハブ小屋内部から出火したものです。

この建物は人目につかない山中にあり、その敷地周囲は鉄製の柵が設けられ、本来関係者以外立入禁止とされていましたが、柵の切れ目などから敷地内に入ることができました。建物の出入口や窓は施錠されていましたが、窓ガラスが割られ、中にはいたずら書きやおもちゃなどがあり、また、ここに入出入する小中学生くらいの子供たちを見かけたという情報もありました。

このことから、この火災は、小中学生くらいの子供たちが建物内に入り、ライターやマッチなどなんらかの火種を用いて火遊びをした結果、出火したものと思われます。

なお、人目につきにくいこともあり発見が遅れ、敷地内の他の3棟の建物にも延焼拡大してしまいました。



6 予防対策

この火災は、人目のつきにくい空家に入り、子供たちが火遊びをしたことにより出火したものです。

関係者は、敷地周囲に柵をし、建物には施錠し、定期的に見回りをしていましたが、それにもかかわらず、子供たちが侵入し火災になってしまいました。

子供たちは、大人が思っている以上に「火」に対して興味を持っており、また、予想もつかない行動をすることがあります。

このことから、次のことに注意しましょう。

- ・ 空地や空家は立入禁止や施錠管理などを徹底しましょう。
- ・ 子供たちに火事の恐ろしさを教え、火遊びをしないよう防火教育をしましょう。

[花火が着衣に着火]

- 1 出火日時 7月 20時頃
- 2 出火場所 専用住宅敷地内
- 3 火災程度 着衣焼損
- 4 死傷者 負傷者 女児1名
- 5 原因概要

この火災は、女児が手持ち花火を振りながら敷地内を走り回って遊んでいるうちに、花火の火の粉が着衣に燃え移ったものです。

なお、この女児は腕などに火傷を負っています。



6 予防対策

この火災は、大人が立ち会っていましたが、わずかに目を離したすきに発生しました。子供たちは、大人が予想しない行動をしがちです。目を離さないよう注意しましょう。花火は、楽しみながら防火教育を行う絶好のチャンスにもなります。必ず大人が立ち会い、場所の選び方、消火用水の準備、マッチやライターの使い方、火を使った後の始末の仕方など、子供の年齢にあわせた教育を行いましょう。